



平成29年12月12日

各 位

上場会社名 昭和電工株式会社
 コード番号 4004 東証第1部
 代表者 取締役社長 森川宏平
 問合せ先 財務・経理部 IR室長 加藤信裕
 TEL (03) 5470 - 3323

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の景気動向を踏まえ、平成29年7月24日に公表した平成29年12月期通期連結業績予想を修正いたします。なお、下記見通しの親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、平成29年10月2日に統合したSGL GE社（現SHOWA DENKO CARBON Holding GmbH）との事業統合の影響について精査に時間を要しますので前回予想を据え置いております。

記

1. 平成29年12月期通期連結業績予想の修正

(1) 平成29年12月期通期連結業績予想

(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成29年7月24日発表)	百万円 762,000	百万円 60,000	百万円 43,500	百万円 21,000	円 銭 147.34
今回修正予想(B)	773,000	70,000	55,000	21,000	147.34
増減額(B)－(A)	11,000	10,000	11,500	0	
増減率(%)	1.4%	16.7%	26.4%	－	
ご参考 前期 (平成28年12月期)	671,159	42,053	38,690	12,305	86.27

(2) 業績予想修正の理由

売上高は、無機セグメントにおいて第4四半期からSGL GE社（現SHOWA DENKO CARBON Holding GmbH）との事業統合に伴い損益を連結するため増収を見込みます。石油化学セグメントは、原料ナフサ価格が上昇し製品市況が前回予想を上回って推移していることにより増収を見込みます。

営業利益は、石油化学セグメントではアジア市場の堅調な需給を受け製品のspreddが前回予想を上回り、無機セグメントでは中国子会社が黒鉛電極市況の上昇を受け、それぞれ前回予想を上回る見込みです。

経常利益は主に営業利益の増益を受け前回予想を上回る見込みです。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、平成29年10月2日に統合したSGL GE社（現SHOWA DENKO CARBON Holding GmbH）との事業統合の影響について精査に時間を要しますので前回予想を据え置いております。

以上

(ご参考) 平成 29 年 12 月期通期業績予想 セグメント別売上高、営業利益 (連結)

売上高

(単位: 億円)

セグメント	平成 29 年通期業績予想 (連結)			前期実績 (H28. 1~ H28. 12)
	前回予想 (H29. 1~H29. 12) H29. 7. 24 発表	今回予想 (H29. 1~H29. 12) H29. 12. 12 発表	増 減	
石油化学	2,400	2,480	80	1,858
化学品	1,480	1,480	0	1,345
エレクトロニクス	1,300	1,260	△40	1,205
無機	560	690	130	509
アルミニウム	1,050	1,070	20	986
その他	1,310	1,310	0	1,287
調整額	△480	△560	△80	△478
計	7,620	7,730	110	6,712

営業利益

石油化学	250	300	50	207
化学品	150	160	10	138
エレクトロニクス	220	220	0	150
無機	0	30	30	△58
アルミニウム	60	65	5	44
その他	0	5	5	6
調整額	△80	△80	0	△68
計	600	700	100	421

注 1. 平成 29 年よりリチウムイオン電池材料事業を「その他セグメント」から「エレクトロニクスセグメント」に移管いたしました。平成 28 年実績は新セグメントに組み替えて表示しております。

注 2. 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提として作成したものであり、実際の業績につきましては、さまざまな要素により、予想数値と大きく異なる場合があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、ナフサ等原材料価格、製品の需要動向および市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。